

クラブフォーラム【職業奉仕】

職業奉仕委員長 中野忠昭

「職業奉仕」とは・・・

ロータリーの第2奉仕部門。その目的には、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくことが含まれる。クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして、社会のニーズに応えられるようなプロジェクトを開発することが含まれる。また、ロータリーの原則に沿って自らと自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

『ロータリー情報マニュアル』RI第2650地区 マニュアル編集委員会、2010年

1987-88年度RI理事会で「職業奉仕は会員個人とクラブ双方の責任である」とする「職業奉仕の新方針」が発表される。

設置が推奨されている小委員会

1. 職業情報

職業奉仕を始めるには、まずクラブとして会員の職業奉仕に対する理解を深めさせることが必要である。

・職業分類談話 ・会員の事業所見学 ・グループ討議

2. 職業活動表彰

職業上の美德を推奨し、高度な道徳的水準の実践に導く上で重要かつ効果的な方法。

3. 職業相談

主として青少年の就業に力を貸し、雇用につとめる。

4. 職業指導

地域社会内に雇用の機会をふやし、「四つのテスト」の適応、推進をはかる。

5. ロータリー・ボランティア（1992年職業奉仕の傘下に入る）

地元地域社会と他の地域社会内で得られるボランティアの機会についてロータリアンの理解を深め、クラブ、地区、国際レベルでボランティア活動を支援する手段をロータリアンに提供する。

6. ロータリー趣味、職業別親睦活動

1993年、国際職業連絡グループと世界親睦活動が合併して形成された。現在では、グローバルネットワークの中の「ロータリー親睦活動」となっている。

7. その他

空席の職業分類に会員を入会させる会員増加活動などがある。

『わかりやすいロータリー』RI第2650地区ガバナー事務所マニュアル編集委員会、2011年

「職業奉仕」・・・何をすべきか？